

東日本大震災—13年(上)

備え



災害に対する備えの知識が記された「防災かるた」に取り組む子どもたち。楽しみながら学びを深める

市が実施する防災訓練。職員のほか、消防署員、自衛隊員などが参加、本番さながらの緊迫感が漂う



東日本大震災から十三年が過ぎた。この間、いわき市内では二〇一九年の東日本台風、昨年の台風13号の線状降水帯に伴う大雨など、各地で大規模な自然災害が頻発している。果たしてこうした災厄に対する方策は。自らを含め、命を守るための「備え」について考えてみた。



2019年10月13日の東日本台風、同25日の大雨と短期間に複数の災害が起こった時の内郷コミュニティセンター避難所の状況